



第11代学長に就任して -同窓会の皆様へ-

学長 坂本 禎智

2020年4月1日より八戸工業大学学長に就任しました坂本禎智です。大学院博士前期課程・後期課程を含む、本学を卒業・修了されたすべての同窓生の皆様に、八戸工業大学学長としてご挨拶を申し上げます。

私事になりますが、私は1986年に、本学に電気工学科の教員として着任し、その後2005年に新設された感性デザイン学科に異動となりました。その後さらに異動を繰り返しますが、結局、工学部21年、感性デザイン学部14年、合わせて35年間、本学に勤務しました。このように、二つの学部学生の教育、大学院学生の教育を担ってきましたが、本学にこの工学部と感性デザイン学部が存在することに大きな意義があると考えています。

いま社会は、Society 5.0社会、人生百年時代、コロナ禍を契機とした新しい生活様式を意識した社会の到来など、激変の渦中にあり、大学・短大・高専等の高等教育機関には、どのように変化の激しい社会を生きる力の育成が求められているところです。また、STEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) 教育やデザイン思考の教育などが推奨され、文理横断的な幅広い視野をもった人材の育成も求められています。さらに、最先端の工学技術やアイデアを、デザイン・AIの想像力や発想力を利用して、実用化につなげていくという点で、異分野の人材や情報の融合で、今までにない技術革新を起こそうとする動きもあります。いまでは研究開発にはデザインが必要という認識が欧米を中心に広がっており、米国の総合大学にはデザイン学科が当たり前にあるような時代となっています。このような状況の中で、本学に工学部とデザイン学部が存在することは、まさに本学は、時機を得た人材育成の基盤が整っている大学と言えます。

工学部にはモノづくり、感性デザイン学部にはモノに付加価値を与える役割があり、また感性デザイン学部には地域の新しい価値の創造、工学部にはその価値を実現するためのモノづくりの役割があると考えています。それらの融合は、社会を活性化し豊かにする新たな循環を生み出します。本学は、工学とデザイン融合した文理融合型教育、AI教育、デザイン思考教育によって、地方創生を担う人材、これからの時代に欠くことのできない有為な人材を育成していきたいと考えています。

本学は、1993年から自己点検・評価活動を開始し、また、日本技術者教育認定機構(JABEE)による認定活動を全学的に進めるなど、早期から教育の改善・改革に取り組み、社会の要請に応える教育を実践してきた大学です。最近では、2014年に文部科学省・大学教育再生加速プログラム(APE)に採択(採択率19.5%)され、2019年度まで6年間にわたり、「学修成果の可視化」を前提とした「教育の質保証」の実現に取り組んできました。その結果、学生の成長過程を可視化し、効果的な教育実践サイクルを循環させるなど、教育の内部質保証システムを構築することができました。同窓生の皆さんは、ご承知のことと思いますが、本学の教育理念は「良き技術は、良き人格から生まれる」であり、これは「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的判断力を持つことが必要である」ことを意味しています。本学は、今回構築した教育の質保証システムを活用し、そのような能力をしっかりと育成していきます。

さて、本学は2022年に創立50周年を迎えます。いまその節目を迎える準備をしている段階です。創立から50年を振り返り、本学をご支援助けくださった多くの皆様に「感謝」を伝え、その先の未来を伝え、「進化・成長」を誓う機会ととらえています。今後同窓生の皆さんに母校を誇りに思ってもらえるよう、そして本学が更なる発展を遂げるよう、皆様とともに一体となって教育・研究・社会貢献に努めていく所存です。今後とも、皆様のご指導・ご鞭撻をくださいますようお願いいたします。

八戸工業大学は2022年に 創立50周年を迎えます



大学ホームページ
特待生・減免制度



大学パンフレット
(デジタル版)

会長を務めております富士信雄です。全国各地の同窓の皆様方におかれましては、それぞれの地でご活躍のことと存じます。常日頃から同窓会活動には格段のご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、母校八戸工業大学からは同窓会活動に一層のご理解とご支援をいただいております。深く感謝申し上げます。

さて、今年度は言うまでもなく日本が世界が、コロナ禍で苦しい状況に陥っております。私が代表取締役社長をしております桜総業株式会社も国内外に工場・事務所があり、様々な影響が出てきており苦慮しております。恐らく皆様のお仕事においても同様の苦労があると推察いたします。我が同窓会におきましても、理事会・評議員会を始め「集う会」や各支部・分会の活動も中止に追い込まれ、この会報も8月から12月に発行を延期いたしました。



会長挨拶

～ポストコロナの同窓会活動とは～

会長 富士信雄

の結果、文部科学省等国からの支援が決まり、まずはこの支援で対応し、影響が長引きさらに困窮している学生が出てきた時には、再度相談することといたしました。

また、分会の活動として在学生の新型コロナウイルス感染症対策に役立ててもらったため、「検温機能付き消毒液オートゲイスペンサー」を寄贈したりしております。菅政権が行う改革の「デジタル庁の創設」や「新しい生活様式」を上げるまでもなく、同窓会としても「会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に貢献する」新たな活動の在り方を研究して行かなければならないと考えています。

母校は2022年に創立50周年を迎えます。同窓生の皆様のなご一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

* 追伸としてのお知らせです

「2017ミス・クリンライスあおもり」に選ばれた本学4年生の「赤石美友」さんが、女優を目指して「MISS CIRCLE CONTEST2020 Bブロック」×クォーターファイナル進出「や」『JJ』11月号掲載「などで活躍しています。ぜひネット検索して応援していただければ幸いです。

理事会・定例代議員会 開催中止 各支部会等の総会中止

新型コロナウイルス感染拡大とその深刻化が進む状況において、同窓会員の安全確保と参加者を起点とした感染拡大の防止を考慮し、6月27日(土)八戸グランドホテルにて同時開催を予定しておりました令和2年度第1回同窓会理事会及び、定例代議員会の開催を中止することを決定いたしました。今後の開催時期は未定ですが、開催できる状況(旅行・イベント開催制限緩和等)になりましたら、理事会及び定例代議員会を開催する旨をお知らせいたします。

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	富士 信雄	昭和51年度	電気
副会長(※)	淺利 能之	昭和51年度	電気
副会長	小玉 成人	平成7年度	電気
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成4年度	エネルギー
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	高橋 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事(東北支部)	奈良坂 進	昭和60年度	機械
理事(北海道支部)	山下一寛	昭和62年度	建築
理事(秋田支部)	永井 誠	平成2年度	建築
理事(関東支部)	古館 仁	平成10年度	機械
監事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

※同窓教職員会の会

同窓会への参加を希望される皆様へ

参加の申込みは、「同窓会参加申込みフォーム」からお願いします。5月ごろから申込み受付を開始します(右図QRコード読取)。あらかじめご了承くださいませ。

また、電子メールの場合は、参加会場・氏名・卒業学科・卒業年度・連絡先電話番号(可能であれば学籍番号もお願いします)を記載の上、同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)または、それぞれの支部申込先へお申し込みください。※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。

詳しくは、同窓会HP(<https://alumni.hi-tech.ac.jp>)にてご確認ください。開催情報他、変更といった補足情報など、随時同窓会HPにてお知らせいたします。



HAMS (メールマガジン) 会員のご案内

登録手順① 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記メールアドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合は、右図のQRコードを読み取ると、メールアドレスが入力されます。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順② 本登録

空メールを送信した後、携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで、本登録が完了します。
※なお、携帯電話での登録の際は迷惑メールなどのフィルターにてブロックされる可能性があります。各携帯電話会社のサイトにて、alumni.hi-tech.ac.jp (ドメイン名) からのメールを受信をできるように、登録してください。



◆令和元年度水交会総会

令和元年10月5日(土)17時より、八戸グランドホテルにて「令和元年度水交会総会」が開催され、平成30年度収支決算報告及び事業報告、令和元年度事業計画及び中間報告があり、審議した結果異議なく了承されました。なお、大槻副会長への哀悼の意を表すため、1分間の黙とうをささげました。



令和元年度水交会総会
令和元年度水交会総会

◆令和元年度「水交会賞」表彰式

令和2年3月19日(木)及び4月15日(水)に八戸工業大学にて令和元年度「水交会賞」表彰式を行いました。水交会賞は、学業成績が特に優れている学生や課外活動において特に優秀な成績をおさめた学生を表彰する制度です。令和元年度は5名の学生と1団体の学生たちが表彰されました。



◆新型コロナウイルス感染症防止対策品寄贈

在学生の新型コロナウイルス感染症対策に役立ててもらうため、電気電子工学科に検温機能付きオートディスプレイセンサー7台と非接触型体温計2台を寄贈しました。

◆OB・OGだより

阿部 恭也

昭和61年3月卒(佐々木研究室)
現在・阿部電気管理事務所(一社)東北電気管理技術者協会(会員)



昭和61年3月電気工学科卒業の後、八戸市内の会社に就職し20数年勤めました。その間、十年ほど電気主任技術者の職についたのがきっかけで、現在の仕事をしています。私が所属している東北電気管理技術者協会は、電気保安のプロ集団として、宮城県仙台市に本部をおき、東北7県において自家用電気工作物を持つ多くのお客様の保安管理業務を行っております。

主な業務内容としては、定められた点検頻度で行う「月次点検」・年1回、停電状態で行う「年次点検」・電気設備を新設または変更する際、工事完了後に行う「竣工検査」などがあります。個人事業主の集団ですが、協会の仲間と協力し合いながら業務にあたっています。

今の仕事に就いて11年たちましたが、おかげさまでお客様にも恵まれて忙しい日々を送っています。今思うと、八戸工業大学で電気工学を学んだことも現職の布石だったのかもしれない。また、恩師であります佐々木一人先生には、卒研の相談にいくと「先ず、やってみなさい」とよく言われました。今でも、何かに迷ったときは、この言葉が道標になっています。

卒業してから5年が経過しました。学生時代に習得した知識を実践し効果へと結びつけるまでにはまだまだ経験不足と感じていますが、平成27年に焼失した蕪島神社の再建では本殿電気工事の現場管理・監督業務に携わり、完成した本殿を引き渡した際には自己の成長を感じると共に自信にも繋がりました。

長谷川 健介(旧姓 澁谷)
平成27年3月卒(根城研究室)
現在・株式会社河原木電業 工務部一課



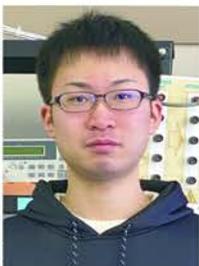
八戸工業大学を卒業してから5年が経過しました。学生時代に習得した知識を実践し効果へと結びつけるまでにはまだまだ経験不足と感じていますが、平成27年に焼失した蕪島神社の再建では本殿電気工事の現場管理・監督業務に携わり、完成した本殿を引き渡した際には自己の成長を感じると共に自信にも繋がりました。

学生時代に学んだ事以外に、法律遵守や工事材料の発注、現場予算管理、安全管理、他業種との工程のやり取り等々、するべき事は多岐にわたりますが、現在は一級電気施工管理技士を取得するため、勉強しています。

人類が経験のしたことのないコロナ過の中に結婚しました。妻のお腹の中には新たな命も宿っています。生まれくる子に「あの建物は、パパが作ったんだよっ!」と胸を張って言えるよう一流の電気工事士となるよう取り組んでいきたいです。

◆同窓生としての抱負

中居 克介
令和2年3月卒(信山研究室)
就職先・東日本旅客鉄道株式会社



八戸工業大学での4年間を通して、専門的な知識のみならず計画性や積極性など、多くのことを学びました。インターシップへの参加や、特別指導補助学生として様々な人と関わることで、人としてより成長できたと思います。

卒業研究では信山研究室に所属し、バイオプラスチックを用いた電気絶縁材料の研究を行いました。測定条件の確立や研究の難しさなど多くの壁にぶつかりましたが、それら乗り越えて忍耐力や社会人として最低限のスキルも身に付けられたと思います。卒業後は、この4年間で身に付けた計画性や積極性などを磨き、日本のインフラを支える一員として恥じないよう取り組んでいきたいです。

◆学科近況報告

学科長 関秀廣 先生

坂本慎智先生が本学11代目学長に就任され、新型コロナウイルス感染症の猛威を受けている中、大学改革の手を緩めることなく推進しております。本学科では、デジタルフィルタを専門とする越田俊介先生に着任頂きました。また、本学科OBの本波洋先生がシステム情報工学科に籍を置き、ロボティクス教育などに力を発揮して戴いています。この非常事態でも学生の就職は好調であり、今年もインフラを支える東北電力や日本原燃、JR東日本などで卒業生が活躍し始めています。



美和電気工業株式会社
CONCEPT ENGINEERING

八戸営業所
〒039-2245 青森県八戸市
北インター工業団地1丁目1-44
TEL:0178-20-4303 FAX:0178-20-4230

人が、街が、環境が喜ぶ未来へ

株式会社 河原木電業
KAWARAGI

<p>本社 青森県八戸市江崎二丁目11-13 TEL:0178-45-2100</p>	<p>関東営業所 埼玉県さいたま市南区本田理二丁目8-13 TEL:048-884-3400</p>
<p>六ヶ所営業所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字家ノ前85-2 TEL:0175-72-3700</p>	<p>グループホーム智永堂 青森県八戸市江崎二丁目18-8 TEL:0178-22-0011</p>

◆学科ニュース 新任教員紹介

加藤 雅也(かとう まさや)教授



今年度4月1日付で土木建築工学科に着任しました加藤と申します。出身は神奈川県です。北海道大学で土木工学を学び、ゼネコンで現場管理、技術開発を経験した後、釧路工業高等専門学校で教育、研究、学生指導等を行ってきました。高専は中学卒業後の5年間(専攻科も入れると7年間)の一貫教育で、実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。大学とは異なる部分も多くありますが、高専での経験を少しでも活かすことができよう努めてまいりたいと思っています。

専門分野は沿岸海洋工学で、主な研究テーマは波と構造物の相互作用になります。釧路高専時代は建築の学生を研究指導する関係で、津波や強風と建築物の関係についても取り組みました。沿岸域は津波、高潮、海岸侵食等の脅威に加え、多様な環境問題も有しています。微力ながらそれらの解決に少しでも貢献することができればと思っています。

着任して半年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症への対応というこれまで経験のない事態に直面しながらも、教職員の皆様に助けていただき、今のところ大過なく過ごせています。しかしながら、まだまだ公私ともに不慣れなことが多いので、教職員の皆様をはじめ同窓会の皆様にもご協力をお願いすることがあると思います。八戸工業大学発展の一助となるべく尽力する所存ですので、よろしくお願いたします。

◆「建築工学科創設期の恩師を囲む会」開催計画

建築工学科同窓会拓北会は設立されてから40年を迎えます。この節目に、設立当初から学生の育成に携わってこられた恩師の皆様方を迎え、「建築工学科創設期の恩師を囲む会」の来年度開催を目指し企画します。詳細は同窓会ホームページまたは、土木建築工学科ホームページに掲載予定です。随時更新して参りますので、ご確認下さい。

日時(予定)：令和3年11月20日(土)

見学会(予定)：八戸の文化施設「新むつ旅館」
会場住所：青森県八戸市小中野6-20-18
懇親会(予定)：建築工学科創設期の恩師を囲む会
会場：八戸パークホテル
40年の時を重ねて

◆八戸建設セミナー開催

テーマは「建設分野へのICT技術の活用とその適用事例」と題し、本学会を会場として実施されました。

日時：令和2年11月7日(土)13時30分～16時20分
会場：八戸工業大学G204教室

基調講演：「建設分野でのICT技術の適用事例」
演題①：「地方中小建設業者が取り組むICT(情報通信技術)施工」
演題②：「国道338号道路改良工事におけるICT施工の取り組み」

◆「住みたい家・住みたい街」コンクール2020開催

子どもたちに自分たちの家や街について考えてもらい、地域社会の担い手として育ててもらいたいと考え、家・街・その他について子供たちが関心を高める機会としてコンクールが開催されました。

「優秀作品発表会・最優秀作品選考会・表彰式」
日時：令和2年10月31日(土)10時～12時
会場：八戸ポータルミュージアムはっちシアター2
「作品展示」
会場：八戸ポータルミュージアムはっちギャラリー2
期間：令和2年10月26日(月)9時～10月31日(土)15時

◆令和元年度 受賞

- ◆佐々木幹夫名誉教授：平成30年度青森県工業技術教育振興会特別賞
- ◆月永洋一：令和元年度青森県工業技術教育振興会特別賞「寒冷地コンクリートの耐久性に関する教育・研究および社会活動」
- ◆高瀬慎介：令和元年度青森県工業技術教育振興会賞「数値シミュレーションによる雪崩被害予測に関する研究」
- ◆迫井裕樹：平成30年度青森県工業技術教育振興会賞受賞

◆事務局だより

□土木建築工学科ホームページには、イベント 情報、Topics、Civil and Architecture News、新聞記事で見る土木建築工学科などが掲載されていますので、是非、立ち寄って頂ければ幸いです。



<http://www.cea.hi-tech.ac.jp/>

(株)アムテックス・安全自動車(株)・(株)イヤサカ
指定サービス工場
自動車整備用機械工具及び検査機器 修理・保守
一般社団法人 日本自動車機械工具協会
車検機器点検資格・リフト点検資格 認定

藤澤こうぐ店

代表 藤澤 崇司
(平成8年度 エネルギー工科学卒)
〒041-1111 北海道亀田郡七飯町本町5丁目19-19
TEL/FAX 0138-83-1285
※令和2年7月より配住所へ移転いたしました

株式会社ザックス
<http://www.zax.co.jp>

理化学機器、放射線関連製品、試薬、エアフィルター、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市長根17-7
tel:0178-73-3620 fax:0178-73-3621

事業所：東通(本社)、六ヶ所、大岡、八戸弘前、青森、北海道

「ものづくり」との出会い

エネルギー工学科2期生 伊藤 昇

同窓会の皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの影響で本学においても厳しい状況にあるのではないかと想像しております。影響が最小限で済むよう祈るばかりです。

さて私は現在、長野県飯田市に本社を置く産業用機器製造の会社に勤務しています。会社は2007年に八戸地域に進出しこれを機に私も入社しました。開設当時事業所スタッフ5名でスタートし今では約60名まで拡大しています。

私は2013年4月まで南部町福地工場に勤務し同年5月に飯田市本社工場に転勤、昨年4月に再び福地工場配属となりました。

これまでの仕事は製造管理業務がメインでしたが昨年からはライン構築・改善業務となり現在メンバー5名で新ライン構築に取り組んでいます。

新ラインは「少量多品種混流ライン」二段階・接続ワンタッチ化「検査記録ペーパーレス化」の3本柱を実現することで生産効率20%アップを目的としています。

業務内容は工程分析、ライン設計、設備選定、電源設計、省力化の仕組みや治具の製作、ペーパーレスシステム製作、プロジェクト推進と多岐に渡り日々考えることが山積みで仕事が頭から離れません。

しかし苦痛とは感じておらずアイデアが浮かぶと早くラインで試したい気持ちが高まっています。前職までのソフト開発の仕事では無かった感覚です。

42歳で「ものづくり」に出会い10年余でやりがいを感じるようになりました。

退職までの10年で「ものづくり」を追求し退職後は次世代人材育成に少しでも貢献できればと考えています。

◆近況報告

平成26年3月バイオ環境工学科卒業

桑田 遥

つい先日まで学生だと思っていたのが、早いもので社会人七年目を迎えようとしております。近況報告ということで、卒業後の六年間について簡単ではありますが報告させていただきます。

私は検査開発株式会社に入社し、入社後二年間は茨城で環境中の放射線量を測定するための分析業務を行い、三年目からは福島に異動し福島の復興に役立てるため、放射性核種の迅速な分析手法の開発ということで研究開発の業務に携わっております。

学生時代の研究室の選択の際には、化学系を専攻したいと思い、そして学ぶからにはしっかりと学びたかったので、当時、学科の中で一番厳格と有名だった研究室を選びました。その甲斐もあり、卒業後は夢であった化学分析をすることができた会社に入社することができました。入社後も、研究室時代に比べれば苦しいと思うことが多々あり、技術面でも精神面でも鍛えられたな

と実感し、当時の教授にはとても感謝しております。

しかし、学生時代の知識だけでは足りず、業務をこなしていく中で劣等感を感じる日々でした。そのため、社会人になってからは資格勉強や、専門知識を増やすための自己啓発を行うようになりました。学生時代はどちらかというと勉強に対して受け身で、与えられたものをこなすだけでしたが、今は自分のために何が必要なかを考え、自ら勉強し、その成果を業務に生かすことができています。

様々な苦労はありますが、現在の仕事は自分にとって、とてもやりがいのある仕事です。自分では苦手だと思ふ分野の業務でも、一度やってみると意外とそうでもなかったということも多々あります。また、様々な人とコミュニケーションをとることで、様々な意見や考え方に触れ、勉強にもなりますし、またそこで繋がりができます。これからも人と人との繋がりを大切にしながら日々努力したいと思っている次第です。末筆ながら、八戸工業大学の益々の発展及び皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成26年3月バイオ環境工学科卒業

柴崎 駿



学匠会ならびに八戸工業大学同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この度はこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。

平成25年度に卒業してから、あつという間に時間がたってしまったように思えます。野辺地から電車・バス・自家用車・自転車を駆使して毎日通ったあの日々がこの間に様に感じられますが、もう六年も経つことに驚きを禁じえません。

大学卒業後、私は地元野辺地町に戻り、町職員として行政サービスに携わっています。初めの四年間は学校教育課で学校施設の管理・工事や情報教育関係を受け持ち、平成30年度から2年間の建設環境課で建設事業を担当し、現在は財政課で公共施設の管理等を担当しています。建築にかかわる分野にいる時間の方が長くなり、卒業の内容もおぼろ気なほど専攻からは離れてしまいました。

しかし、大学で学んだ貴重な四年間は自分の中でしっかりと根付いており、工学的な考え方や数字の取り扱い、卒論作成で学んだプレゼン手法や学友会活動を通して得たイベント運営の経験など、細やかなところで活かせることも多くありました。

大学生活の中で得た経験だけでなく、友人たちとの交流も続いており、改めて振り返ると本当に充実した4年間だったと感じることができました。

末筆ながら、改めて感謝申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸を祈念しております。

◆学科ニュース 新任教員紹介

本波 洋(ほんなみひろし)講師



1983年電気工学科 苦米地研卒のOBです。38年という悠久の時を経て、当時大変お世話になった松坂先生・苦米地先生が立ち上げられたシステム情報工学科で教鞭を執れること、感慨ひとしおです。前職の東芝では工場自動化などのシステム開発事業に携わっていましたが、役職とともに自らの手で開発をする機会が減りSEとして物足りなさを感じていました。定年退職を機に、最新のIoT、メカトロニクスのマイコンプログラミングに没頭していた事が縁で、現職に至りました。写真の今にも朽ち果てそうな本は39年前の苦米地研ゼミで使用していたZ80マイコンの教本で、バイブルとして今でも傍に置いてあります。今後は、学生はもとより地域全体のIT技術の向上にMaker(つくる人)マインドの向上に貢献できるよう頑張りますので、御支援のほどよろしくお願い致します。

島内 宏和(しまうちひろかず)講師



今年4月より、システム情報工学科に勤めさせていただきます。

出身は熊本県で、大学では理学部数学科で数学を学び、大学院では情報科学研究科情報基礎科学専攻で数学と情報科学の境界領域を専攻しました。最近、医用画像処理に応用がある擬等角写像の数値的構成や、擬等角写像を用いた人工知能の要素技術の一つである深層学習を安定化する手法の構築、精神医学分野等におけるデータマイニングなど、数理情報学と知能情報学を中心として研究を多面的に展開しています。

社会で活躍するエンジニアやデータサイエンティストを輩出できるように、精進して参ります。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◆OB・OG近況報告

澤村 一志

(平成27年度卒業生・三沢市役所)



私は現在、三沢市役所に勤めています。採用から2年目までは庁内のネットワーク管理を行う部署に配属され、大学で学んだ知識や能力を活用してネットワークの維持に

努めました。現在は市の教育委員会事務局に所属し、市内小中学校の物品調達等々

の業務を主に担当しており、児童生徒がより良い学習環境で授業が受けられるよう努めています。

仕事辛いと思うときもありますが、市民や関係者の方々から感謝の言葉をいただいた時はとても嬉しい気持ちになり、また頑張ろうという活力が湧いてきます。今後も、私の家族や大学で指導してくださった先生方など、今まで関わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、大学で学んだ知識や能力を活かしながら目の前の仕事に真摯に取り組んでいきます。

下斗米 一真

(平成31年度卒業生・八戸工業大学職員)



私は現在母校である八戸工業大学に技術補として勤務しています。業務内容は主にサーバーや学内ネットワーク、大学ホームページの管理等々です。

仕事は多岐にわたり、様々な知識が求められるので学生時代より勉強をしているかもしれせん。業務で初めて触れるシステムや言語など

でつまづくことも多いですが、これからも学習を継続して理解を深め、一人前の管理者になりたいと思っています。休日はよく友人とPCを利用してビデオ通話をしています。今年にはコロナ禍で、長期休みに帰省することが難しいですが、姿を見ることができて少しホッとしました。現実で集まることができるよう、いち早くコロナが収束することを願っています。

◆第18回うみねこ会中止のお知らせ

今年度の「うみねこ会」は、新型コロナウイルスの感染が継続している状況を鑑み、中止することといたしました。ご参加をご検討いただいていた皆様にはご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございません。何とぞご理解の程、よろしくお願い申し上げます。



写真は昨年度懇親会時の集合写真です

Office Optimization

オフィス・オフィマイゼーション/オフィスの最適化
貴社の業務の本質を捉え、
オフィスの最適なカタチを提案するのが仕事です。

株式会社 金入

〒039-1121
青森県八戸市卸センター二丁目4-12
TEL 0178-28-2871 / FAX 0178-20-2764
http://www.kaneiri.co.jp

感性デザイン同窓会

◆感性デザイン学科同窓会会長 挨拶



八戸工業大学
感性デザイン学科
同窓生の皆様、同
窓会長の石橋です。
お元気で過ごし
ていらっしゃるか！

さて、世間では
新型コロナウイルスが蔓延し、これまでも
異なった新しい生活様式が求められていま
す。大学においても本年3月の卒業式は特
別な形で開催となりました。そのため、こ
れまでの卒業生とは異なりご挨拶をするこ
とができず、大変残念な思いをいたしました。
今回、紙面をもちまして改めてご挨拶
申し上げます。

この3月に感性デザイン学科を卒業され
た同窓生の皆様、卒業されて半年が過ぎま
したがいかがでしょうか。在学時には想像
もしなかった社会の荒波に採まれて苦勞し
ている人もいるかと思えます。デザインとい
う分野を社会で理解してもらうのはなかな
か難しいものです。しかし、社会では学ん
できたデザインの知識や技能を活かせるチャ
ンスは山ほどあります。自分たちが学ん
できたことを、自信を持って示すことができ
れば大学の勉強が無駄ではないことを実
感できるはずです。

また社会に出ると、どうしても会社組織
の中でのつながりが人付き合いの大半を占
めるようになってきますが、同窓会というつ
ながりがあることも思い出してください。
感性デザイン学科は大学の中で一番新しい
同窓会ですが、学科設立から15年が過ぎて社
会で活躍するOB・OGも増えてきました。
また、活躍の場はさまざまに分野に広がり
意外なところで活躍しているOBもいます。
そうした同窓生のネットワークを活用して
いただきたいと思います。
現在は新型コロナウイルスの影響で同窓会

活動を行えない状況にあります。状況を
見ながら活動を再開させたいと考えていま
す。その際はぜひともご参加ください。今
後とも同窓会へのご理解とご協力をよろし
くお願い致します。

◆学科の活動

まちなかに学生の居場所を
～空き家リノベーションプロジェクト～

感性デザイン学部創生デザイン学科(旧
感性デザイン学科)と工学部土木建築工学
科の学生有志により、構想は2017年度、
開始は2019年度から、八戸市内丸地区
の「空き家」にてリノベーションを行うプロジェ
クトが行われています。

八戸工業大学の立地は市内でも階上町に
近く、特に市外や県外から入学した学生は
階上町の下宿に住んでいることも多いため、
横丁や文化施設のある八戸市の中心街は、
物理的にも心理的にも距離があります。
最終バスの時間を気にしてゆつくりと飲食
を楽しむこともままならず、また、自動車
などを所有していても駐車場代が気がかり
です。しかし、八戸の中心街を楽しむこと
は、学生生活の充実を図るうえで重要な
ことで、また、中心街の魅力はそのまま大
学のブランド価値を形成するひとつとも言
えます。

「空き家」のリノベーションは、そのような
些細でいて本質的な、地域と大学との関係



性における課題から生まれたプロジェクトで、
内丸地区の住民の理解を得ながら少しずつ
進められています。

2020年度に入り、当初は地域の方々と
の共同制作やまちづくりに関する検討ワー
クショップを実施することで「空き家」をオー
プンする予定でしたが、新型コロナウイルス
の感染拡大が懸念される中、内丸地区の住
民や広く市民と交流を形成する機会を創
出することの難しさにも直面しました。こ
のことで、まずは「エッセンスシャルワーカー
を応援するブルードライフトプロジェクト」と題し、
医療従事者を象徴すると言われる「青」を
テーマとした光によるウインドウディスプレイ
を展開し、活動の開始を知らせることに
しました。

その後、2020年9月からは創生デザイ
ン学科4年生がリレー形式で個展を開催す
るといった、作品展示などのビジュアルによ
り学科や大学の活動周知を図るだけでな
く、学生にとっても、自身の作品を卒業制
作の提出前に一般の方々に見せ意見をう
かがうことができると、研究成果の向上
を図ることができると。今後は、学生の作
品だけでなく、工学部との共同での制作、
教員による研究成果や作品の展示なども
計画されています。

八戸市の中心街・八戸市庁から本八戸駅
へと向かう道沿いにある「空き家」は、朝・夕
の通勤・通学時間帯以外でも交通量が多く、
特に本八戸駅を利用する若年層の歩行者
が多いことも特徴です。4年生が個展を開
催する際には、高校生が来場することもし
ばしば見られます。

「空き家」は、
大学の「サテ
ライト・キャン
パス」として、
地域との交流
や研究成果
の可視化とい
った大学の広報
を担うことが
期待されてい
ます。

◆新任教員挨拶 宇野 あずさ(うの あずさ) 助教



はじめまして。本
年度4月より着任
いたしました宇野
あずさ(うのあずさ)
と申します。

大学入学して間も
なく東日本大震災
を経験し、あらゆる
価値の転換が急務だ
ったなかで学生時代
を過ごしてきました。
大学では現代美術を
専門分野として学
び、美術作品として
成立する上で絵画や
立体造形といった従
来の表現形式のほ
かに、映像や写真、
それらを構成した
空間そのものを作
品とするインスタ
レーションなど多
様な表現に取り組
んできました。その
経験を活かし、本
学では「デジタル
表現技法」コンピ
ュータ基礎演習な
どデザインを学び
はじめ、初学年を
対象とした実技制
作による専門科目
を担当させていただ
いております。

美術やデザインは「見て、感じて、考え、
表し、伝える」という人間の社会生活にお
けるコミュニケーションの根幹に寄与し、社
会的な視点から情報を捉え直し、再構築さ
れた知性や新たな価値観に基づく創造的
な生き方を獲得することこそ学ぶ意義であ
ると考えています。各自のアイデンティ
ティを真摯に探求する過程にある学生たち
には、どのように街や社会の課題と関わる
ことができるのか、自分の能動的・主体的な
気持ちで何に起因して「何か」を発見でき
るよう多くの経験を積めるようサポートし
ていきたいと思っております。学生たちが主体的
に学びを重ねていくため、自然や文化、人々
との関わりなど社会や地域の広がりの中
で経験を積み重ね、多様な視点を取り入
れることが大切です。そのためには地域の皆
様との信頼関係の醸成が必要不可欠かと
存じます。卒業生の皆様には、なお一層の
ご協力を賜りますよう、心よりお願い申
上げます。

令和元年度八戸工業大学同窓会事業報告書及び収支決算報告

2019年4月1日～2020年3月31日

事業報告

<本部>

月日	事業内容
令和元年 6月22日(土)	第1回理事会および定例代議員会
10月 5日(土)	第19回同窓生の集う会
令和2年 3月19日(木)	学位授与式
3月19日(木)	第2回理事会(中止)

<支部>

月日	事業内容
平成31年 5月18日(土)	関東支部定例幹事会
令和元年 7月27日(土)	北海道支部総会
8月31日(月)	関東支部役員会
9月 2日(月)	秋田支部幹事会
9月 7日(土)	関東支部総会
9月28日(土)	北海道道南部会支部総会
10月12日(土)	東北支部総会
10月19日(土)	秋田支部総会
11月 9日(土)	北海道道東部会支部総会
11月30日(土)	関東支部役員会
令和2年 2月27日(木)	秋田支部幹事会

<学科分会>

月日	事業内容
平成31年 4月10日(水)	水交会賞表彰式
令和元年 5月 1日(水)	感性デザイン同窓会
5月11日(土)	学匠会第1回役員会
5月15日(水)	蒼峰会役員会
5月17日(金)	うみねこ会役員会
5月24日(金)	第1回水交会役員会
5月25日(土)	学匠会第1回幹事会
6月 9日(日)	蒼峰会総会
6月22日(土)	学匠会単独同窓会
7月25日(木)	水交会大槻勝美副会長葬儀
9月21日(土)	うみねこ会懇親会
10月 5日(土)	水交会総会 土木建築工学科同窓会役員会
令和2年 3月19日(木)	各分会より手交式派遣

決算報告

一般会計

<収入の部>

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	5,200,000	5,280,000	80,000
会報協力費	600,000	538,195	▲61,805
広告収入	180,000	80,000	▲100,000
雑収入	7,853	7,847	▲6
前年度繰越金	8,294,504	8,294,504	0
計	14,282,357	14,200,546	▲81,811

<支出の部>

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	200,000	142,916	57,084
旅費交通費	1,100,000	980,240	119,760
集う会経費	300,000	93,691	206,309
印刷費	2,900,000	2,741,038	158,962
通信費	50,000	25,070	24,930
支部関係	1,350,000	1,013,245	336,755
運営費関係	10,000	17,908	▲7,908
分会助成費関係	1,200,000	624,621	575,379
業務委託費	86,400	64,800	21,600
積立金	0	0	0
慶弔費関係	70,000	6,728	63,272
卒業記念品代	134,500	140,000	▲5,500
記念事業支援費	0	0	0
会報・4条関係経費	100,000	97,460	2,540
予備費	13,600	0	13,600
次年度活動費	6,767,857	8,252,829	▲1,484,972
計	14,282,357	14,200,546	81,811

特別会計

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	0	0	0
計	20,000,000	20,000,000	0

令和元年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和2年6月3日 監事 夏堀 大司
監事 左館 直樹

広告掲載のお願い

同窓会では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。一方で、会報発行にかかる経費（印刷および発送費）は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、会報発行に係る経費を広告収入より充当したく存じます。つきましては、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報の持続的な発行の為、皆様より広告掲載のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

- 発行時期：令和3年12月予定（同窓会報第27号）
- 発行部数：約13,600部
- 広告企画及び金額（フルカラー）広告枠1つ（6cm×4cm）¥10,000
※他のサイズについては、応相談
- 申込期限：令和3年9月1日



実寸大 見本

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用ください）

本部事務局（学務部学生課） TEL:0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp
機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械工学科事務室） TEL:0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp
電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科（電気電子工学科事務室） TEL:0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp
土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科・建築科（土木建築工学科事務局） TEL:0178-25-8118 E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp
環境工学科・生物環境工学科・バイオ環境工学科・生命環境科学科（生命環境科学科事務局） TEL:0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp
システム情報工学科（システム情報工学科事務室） TEL:0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp
感性デザイン学科・創生デザイン学科（創生デザイン学科事務室） TEL:0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●同窓生の皆様へ
 会報が新しい住所に届かない、住所変更後送付先を変えてほしい等につきましても、左記の同窓会本部事務局まで、電話またはメール（氏名、現住所、当時の学籍番号または卒業年と学科）をご連絡いただきますようお願いいたします。

●ご家族の方へ
 本紙同窓会報を同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき、同封の表紙にご子女の現住所等必須事項をご記入のうえ、下記お問い合わせのフリーFAXまでご送付ください。

平成14年3月に同窓会報第1号（創刊号）を発行し、号をかさね、今回も約13,500名の会員にお届けすることが出来ました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会の本来の目的に叶っていくものと考えております。今後、会報の発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金のお願いをさせていただいております。協賛いただいた方におかれましては、お名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、同窓会事務局（上記の連絡先）までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりを取組んでいきます。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

協賛金のお願い

同封物の見方（左図見本）

- 1 あなたの整理番号です。
- 2 現在、住所が分からず会報誌をお届け出来ていない方々です。もしご存知のお名前がありましたら、ご本人から変更等ご連絡いただくようお願いください。
- 3 QRコードより現在の登録内容が変更できます。また住所未確認者等の確認もできます。
 ※変更のある方はいずれかをご利用ください。
 ①下記フリーダイヤル
 ②下記フリーFAX
 ③QRコード（携帯電話）

協賛金へのご入金方法

- 4 電子決済でのご利用案内です。
- 5 コンビニ・郵便局で利用できる振込用紙です。

見本

〒121-0831 東京都足立区倉人 3-11-26
同窓 太郎 様

整理番号 35001001

住所未確認リスト

35001002 浅田 朋高様	35001031 源波 徳高様	35003002 浅田 利光様
35001005 十本 修様	35001033 宮本 丁二様	35003006 土本 馨様
35001008 今野 寧々様	35001034 小笠原 三知様	35003008 高橋 寧々様
35001010 井倉 幸枝様	35001036 三道様	35003009 関口 幸枝様
35001011 齊藤 浩延様	35001038 藤原 隆彦様	35003011 櫻井 光崇様
35001016 佐藤 和申様	35001042 上女 雅 俊雄様	35003012 梅津 壽和様
35001022 高山 直樹様	35001044 石田 智章様	
35001026 中村 良成様	35001046 中村 清一様	
35001029 保田 寛貞様	35002003 浅田 忠男様	
35001030 金枝 康人様	35002004 土本 徳之様	

払込取扱票

払込票兼受領証

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-10-9899（内線92）平日10:00~17:00
 フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付